

障がい者支援施設 わたつみの里 地域連携推進会議 議事録

日 時：令和8年2月11日（水）10：00～12：00

場 所：障がい者支援施設 わたつみの里 作業棟

構成員：利用者代表 1名
 家族代表 1名
 地域の関係者 1名

施 設：3名

内 容：①会議

- (1) 地域連携推進会議の目的
- (2) 障がいについて
- (3) 利用者様の日常生活の様子
- (4) 経営状況の報告について
- (5) BCP 策定状況について
- (6) 近隣からの苦情等の共有について
- (7) 地域交流について
- (8) 虐待・事故・ヒヤリハットの報告について

②施設見学

- (1) 3階居室・共有部
- (2) 2階共有部・作業室・食堂
- (3) 施設周辺

ご意見：

- 1、高齢者施設と比べて平均年齢が若いからか、活気があってよかった。
- 2、お菓子販売をするにあたって、利用者様に販売を任せてみるのもいいのでは。

質疑応答：

Q1、訪問歯科でプラークが多い場所の特定と磨きなおしのアドバイスや歯石除去ができますか。

A1、訪問歯科を依頼しているクリニックに確認後、回答します。

Q2、入浴支援について、足の指の間に汚れが残っている状態であったため、ADL自立者について洗体洗髪介助など行っていないのですか。

A2、ADL自立の利用者様であっても洗い残しが生じることがあるため、本来は見守りや声掛けの支援をしております。しかし、今回の状況から、十分に目が行き届いていなかった部分があったと認しております。

そのため、改めて支援員へ入浴支援のポイントや見守り方法について指導を行い、利用者様への適切な支援につなげてまいります。

Q3、壁紙をはがす方が多いですか。

A3、一部はがれている箇所があると、そこから利用者様がさらにめくってしまい、結果として壁紙がほとんどなくなっている状況が見受けられます。

現在、はがれている部分については壁面を塗装する形で補修対応を行う予定です。

Q4、施設の利用者様が高齢により施設移行などをすることで、新しい方が入った時にどのような対応をされていますか。

A4、利用者様の入れ替わりに伴い新しい方が入所された際には、現在の利用者様の校正や活動状況を踏まえて環境調整を行っています。現在は男女比が2：1で男性が多く、また男性利用者様の年齢層が20代から80代まで幅広いため、年代や特性に応じた活動場所の調整が必要と考えています。

現状では、集団での活動が可能な方と、個別対応が必要な方とで活動場所を分けることで、安全かつ落ち着いた支援環境を確保しています。

Q5、お菓子販売について、現在は職員の方が作られて販売をしています。利用者様が携わる場面はありますか。施設側とバザーを依頼する側との意識の差があると感じています。バザーの出店を依頼する側としては、利用者様が作って販売をしているイメージを持たれているのかなど。

A5、お菓子販売については、製造工程や衛生管理の観点から、現時点では利用者様が一緒に作業に携わることが難しい状況です。

一方で、販売の場面に利用者様がかかわることで、「施設の商品である」という認識を持っていただきやすくなると考えております。そのため、今年9月のバザー出店に向けて、利用者様が接客や販売に参加できるよう、声掛けの練習などの準備を進めてまいります。

Q6、施設が山に囲まれています、山の整備などはどのようにされていますか。

A6、施設周辺が災害警戒区域に指定されているため、倒木による危険を防ぐ目的で、定期的に事前整備が必要となっています。現在は、男性職員が安全に配慮しながらチェーンソーを使用して木の伐採や枝払いを少しずつ進め、周囲の安全確保に努めています。